

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0409

(注)本稿は2017年5月9日から16日まで4回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

大きく遅れている MENA、平均でも世界 180 か国中の 139 位:報道の自由度(2017 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その6)

2017.5.9

前田 高行

目次	頁
1. 「World Press Freedom Index」について	2
2. 2017年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク	2
3. 2016年と2017年の自由度の比較	4
4. 2013年から2017年までの順位の推移	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第6回の MENA ランキングは、ジャーナリストの NGO 団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称:RSF)が発表した「報道の自由度2017(Press Freedom Index 2017)」から MENA 諸

国をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ: <http://index.rsf.org/#/>

1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択されたいくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとって RSF と略称され、本部はパリにある。

RSF は、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標は RSF が作成した50項目のアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

2017年版 Press Freedom Index は世界180カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに対する各国の対応ぶりを評価したものである。このため直近に報道の規制または記者の逮捕などの政府の取材妨害があった国、或いはジャーナリストが誘拐・殺害に遭った国についてはその年のランクが低くなる傾向がある。なお、RSF 自身は、このランクは「報道の質」の良否を示すものではない、と断っている。

よく知られている通り2011年には多くの MENA 諸国に「アラブの春」と呼ばれる政治変革の嵐が吹き荒れた。チュニジア、エジプト、リビア、イエメンなど各国で独裁体制が崩壊したが、エジプトではその後の選挙でイスラム勢力が政権を奪取したかと思うや、わずか1年後にはその揺り戻しとしての軍事独裁政権が復活しており、またシリアでは激しい内戦状態が続き、リビアやイエメンでも部族・宗派間抗争が多発するなど各国の政情はむしろ不安定の度合いを増している。このため MENA 域内でのジャーナリストの活動が危険に晒される状況は一向に改善される気配が見られない。

(MENA の世界平均順位は180カ国中139位！)

2. 2017年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク (末尾表 6-T01 参照)

MENA 19カ国1機関(上記参照)の中で最もランクが高かったのはイスラエルであり、同国は世界180か国中の91位である。MENA トップとはいえ世界180か国の中では平均以下の下位グループにとどまっている。イスラエルに次ぐのがチュニジア(97位)及びレバノン(99位)でありこれら3か国以外のMENA 諸国はすべて100位以下である。MENA の世界平均順位は139位と言う極めて低

いものである。

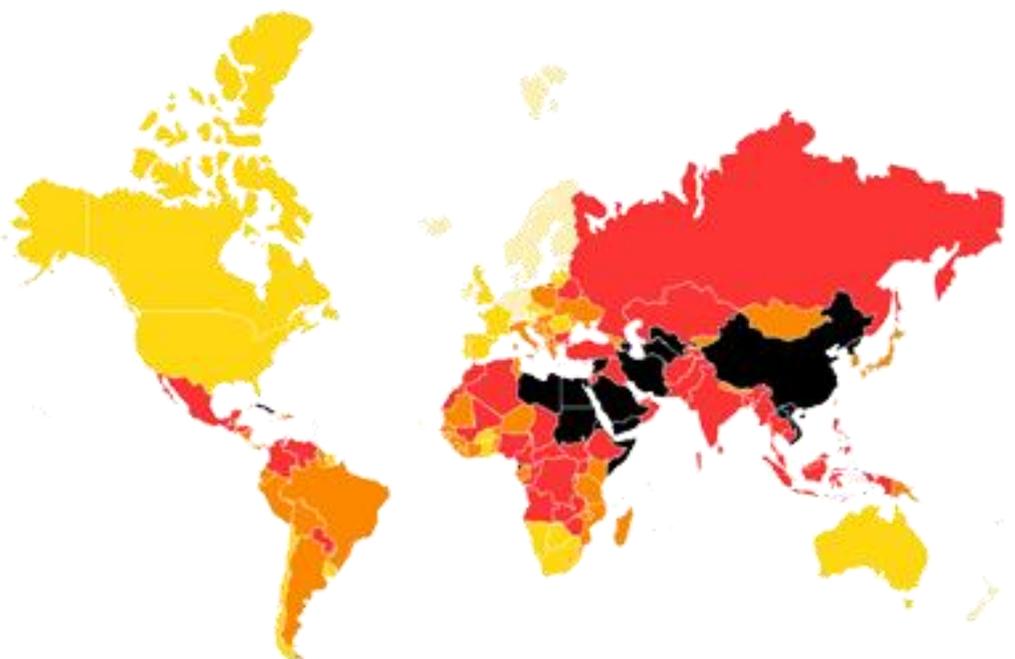
MENA4位はクウェイトの世界104位であり、110位台に UAE(世界119位)、120位台にはカタール(123位)及びオマーン(126位)が続いている。MENA8位から11位までのモロッコ、アルジェリア、パレスチナ自治政府及びヨルダンの4か国が130位台に並んでいる。

中東の大国であるトルコは世界155位であり、同じく大国とされるエジプト及びイランはそれぞれ161位と165位である。そして世界最大の産油国として経済力を誇るサウジアラビアは180か国中の168位であり世界最低ランクと言えよう。MENA で最も自由度が低いシリアは世界177位である。

ちなみに世界で報道の自由度が最も高い国はノルウェーで上位の国の多くは北欧の国々である。日本は世界72位であり米国(43位)よりかなり低く先進国の中では評価が厳しい。なお中国は世界176位でシリアと同レベル、世界最低の180位は北朝鮮である。

評価ポイントで見ると世界1位のノルウェーは一桁の7.60であるのに対して(ポイントが低いほど自由度が高い)、MENA トップのイスラエルが31.01、最も低いシリアは81.49、MENA の平均は48.89である。ノルウェーと MENA 各国の格差は非常に大きいと言える。(参考:米国23.88、日本29.44、中国77.66)

RSF のレポートではポイントに応じて各国の自由度を下記の5つに分類し色分けをした世界地図を掲載している。



- (1) 白(薄黄)色 : 0~14ポイント(Good situation)
- (2) 黄色 : 15~24ポイント(Satisfactory situation)
- (3) 橙色 : 25~34ポイント(Noticeable problems)
- (4) 赤色 : 35~54ポイント(Difficult situation)
- (5) 黒色 : 55~100ポイント(Very serious situation)

この色分け地図では白(薄黄)色が最も自由度の高い国家群とされ、続いて黄色、橙色、赤色と移り、最後の黒色は報道の自由度が非常に深刻な状況にある国々とされている。これを見ると MENA の国々の多くは赤色であり、最低レベルの黒色もエジプト、サウジアラビア、イラン、シリアなど7か国に達している。

(大きくランクアップしたイスラエル、ランクが落ちたカタール！)

3. 2016年と2017年の自由度の比較 (表 6-T01 参照)

報道の自由度のMENAの世界平均順位は前回の138位に対して今回は139位であり殆ど変わっていない。MENAの中では前回世界101位であったイスラエルが今回91位にランクアップし、MENA トップである。イスラエルのように前回より順位を上げた国はイラン、イエメン及びリビアの3か国にとどまり、逆に順位が変わらなかった国と下がった国は17か国に達している。カタールは前回の117位から今回は123位に下がり、またアルジェリアも129位から134位に落ちている。サウジアラビア、バハレーンなどGCC各国も軒並み順位が1~3ランク下がっている。MENA19か国1機関の平均ポイントも昨年の48.03から今回は48.89に下がっており、MENA 全域で報道の自由度が脅かされている状況である。

MENA の主要国の世界順位とポイントの変化を見ると、エジプトは世界順位159位→161位、ポイント54.45→55.78であり、またトルコは世界順位151位→155位、ポイント50.76→52.98、サウジアラビアは世界順位165位→168位、ポイント59.72→66.02といずれも報道の自由度が悪化する傾向を示している。これに対してイランは世界順位169位→165位、ポイント66.52→65.12と世界ランク、ポイント共に改善している。

因みに日本は2016年のポイント28.67から2017年には29.44に悪化しているが、世界順位は昨年通りの72位である。なお米国は世界ランク41位から43位に下がり、中国は昨年と同様の176位であるがポイントは80.96から77.66にアップしており、報道の自由度がわずかながら改善したと評価されている。

4. 2013年から2017年までの順位の推移

(MENA 諸国の殆どは世界順位130位以下で低迷！)

(1) MENA 全般の動き (表 6-T02 参照)

2013年から2017年までの MENA 各国の世界順位の変化を見ると、今回 MENA トップとなったイスラエルは順位が上昇傾向にあるとは言え世界180か国の下位グループにとどまっていることから分かる通り、MENA20か国の中で過去5年間に100位以内だった国の数は2013年は1カ

国(クウェイト)、最も多かった今回ですら3か国(イスラエル、チュニジア及びレバノン)にすぎず、殆どの国が100位以下である。さらに MENA の平均順位は5年間を通じて138位または139位であり、半数以上が140位以下、特にイラン、シリア、イエメンなどは世界の最下位グループにとどまっている。

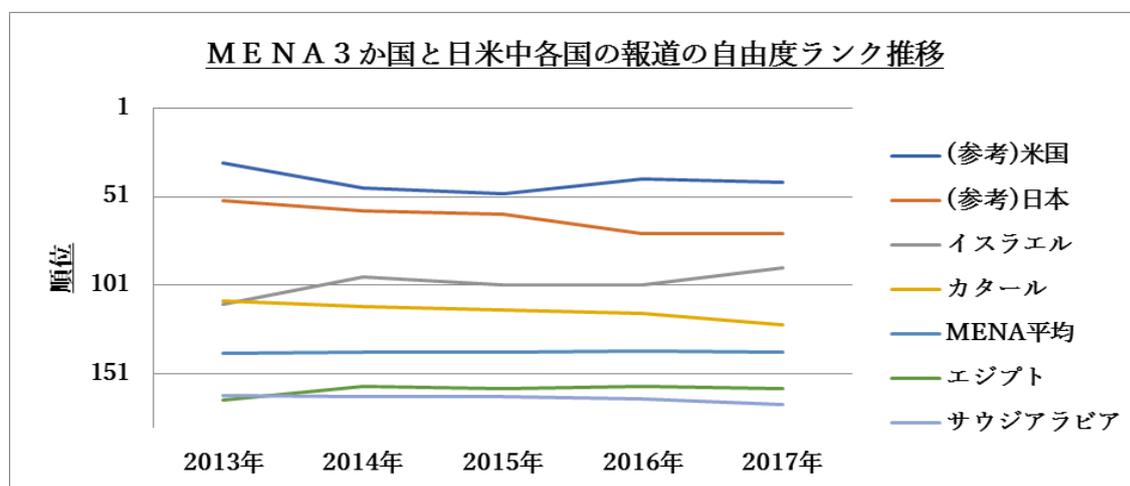
2011年のいわゆる「アラブの春」により MENA 諸国の報道の自由が進展するかに見えたが、実際には強権独裁政権が倒れた後、自由が確保されたのはチュニジアのみでありその他の国々はいずれも政治的混乱、更には内戦の勃発あるいは新たな強権政権の発足等によりむしろ報道の自由が脅かされる事態となっている。例えばリビアはカダフィ政権が倒れた後、各地の部族勢力が群雄割拠する状況で治安が極度に悪化しておりジャーナリストの安全が確保できない状況である。アルジェリアも国内の治安は良ならず自由な報道が妨げられている。シリア、イエメンなどは2013年以前から報道の自由度が世界最低水準にあり改善の兆しが見えない。

そのような中でエジプトはムバラク政権が倒れたのちに新政権に就いたムスリム同胞団がわずか1年でシーシ軍事独裁政権にとって代わり現在では政治体制が安定した状況にある。軍事政権下で報道の自由が阻害されていることもあり自由度の世界ランクは低いままであるが、むしろ政治の安定がジャーナリストの安全を保障する形となり自由度が改善されるという皮肉な結果になっている。

またクウェイト、サウジアラビアなど GCC 王政国家は、「アラブの春」の波及を畏れ、あるいはその後活動を活発化させているアル・カイダや IS(イスラム国)などの過激派テロの侵入を防ぐための報道規制を強めており、ジャーナリストの活動の自由が大幅に制限されている状況である。

5年間で最も順位を下げた国はリビアで2013年の131位から2017年には163位と大幅に後退している。その他クウェイト(77位→104位)、カタール(110位→123位)サウジアラビア(163位→168位)など多くの国で報道の自由度が下落している。

(2)主要国の2013～2017年の推移



ここではエジプト、サウジアラビア、イスラエル、カタールの4か国と MENA 平均順位並びに米国及び日本の2013年から2017年までの推移を比較してみる。まず日本の場合2013年は世界53位で、その後も59位→61位→72位→72位と年々順位が下落している。米国は2013年の32位から2015年には49位まで下落、その後少し持ち直して40位台前半を維持しており、日本との格差は広がったままである。

一方 MENA 諸国の中ではイスラエルが上昇傾向にあり、2013年はカタールより低い112位であったがその後2014年に96位に上昇、2015年、2016年は101位にとどまったが、今回(2017年)は91位と過去5年間でもっとも高い順位である。これに対してカタールの自由度ランクは5年間を通じて毎年下がり続け、2013年の110位から2015年には110位台後半に、そして今回は123位に下落している。

MENA の平均順位は5年間を通じて138位または139位である。エジプトとサウジアラビアは共に MENA の平均を下回っている。エジプトの場合は2013年に166位であったが、2014年以降は150位台後半である。サウジアラビアは5年間を通じて160位台に張り付いているが、過去2年は160位台後半に落ち込み、長期的にはランクは下落傾向にある。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

6-T01

MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング 6:報道の自由度

国名	2017年		2016年	
	ポイント	世界順位	ポイント	世界順位
イスラエル	31.01	91	32.58	101
チュニジア	32.22	97	31.60	96
レバノン	33.01	99	31.95	98
クウェイト	33.61	104	32.59	103
UAE	39.39	119	36.73	119
カタール	39.83	123	35.97	117
オマーン	40.46	126	40.43	125
モロッコ	42.42	133	42.64	131
アルジェリア	42.83	134	41.69	129
パレスチナ自治政府	42.90	135	42.93	132
ヨルダン	43.24	138	44.49	135
トルコ	52.98	155	50.76	151
イラク	54.03	158	54.35	158
エジプト	55.78	161	54.45	159
リビア	56.81	163	57.89	164
バハレーン	58.88	164	54.86	162
イラン	65.12	165	66.52	169
イエメン	65.80	166	67.07	170
サウジアラビア	66.02	168	59.72	165
シリア	81.49	177	81.35	177
(MENA 平均)	48.89	139	48.03	138
(国数)		180カ国		180カ国
日本	29.44	72	28.67	72
世界1位(ノルウェー)	7.60	1	8.79	3
米国	23.88	43	22.49	41
中国	77.66	176	80.96	176
世界最下位(北朝鮮)	84.98	180	83.76	179

MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング6:報道の自由度

国名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
	179カ国	180カ国	180カ国	180カ国	180カ国
アルジェリア	-	121	119	129	134
バハレーン	165	163	163	162	164
エジプト	158	159	158	159	161
イラン	174	173	173	169	165
イラク	150	153	156	158	158
イスラエル	112	96	101	101	91
ヨルダン	134	141	143	135	138
クウェイト	77	91	90	103	104
レバノン	101	106	98	98	99
リビア	131	137	154	164	163
モロッコ	136	136	130	131	133
オマーン	141	134	127	125	126
パレスチナ自治政府	146	138	140	132	135
カタール	110	113	115	117	123
サウジアラビア	163	164	164	165	168
シリア	176	177	177	177	177
チュニジア	138	133	126	96	97
トルコ	154	154	149	151	155
UAE	114	118	120	119	119
イエメン	169	167	168	170	166
(MENA 平均)	139	139	139	138	139
世界1位	フィンランド	フィンランド	フィンランド	フィンランド	ノルウェー
日本	53	59	61	72	72
米国	32	46	49	41	43
中国	173	175	176	176	176
世界最下位	エリトリア	エリトリア	エリトリア	エリトリア	北朝鮮